

跡見学園女子大学 学報



令和4年度入学式の様子

新型コロナウイルス感染症の拡大から2年余りが経過しました。昨年度に引き続き、跡見学園女子大学では学生の学修機会の確保と新型コロナウイルス感染症拡大の防止の両観点から、分散登校による対面・オンラインのハイブリッド形式の授業を展開し、ウィズコロナ・ポストコロナ時代における大学教育のあり方について、模索しております。

そのような中、4月1日より小仲新学長のもと新しい執行部が誕生し、令和4年度をスタートさせました。学長の任期は令和7年度までの4年間です。

今号では、新学長をはじめとした大学役職者のメッセージを掲載いたします。先行きが不透明な世の中ではありますが、そのような中でも、新学長体制のもと、学生の学修機会の確保と教育の質的向上を最優先に、社会から求められる高度な知力と実践力の涵養に努め、学生と社会に対する大学の責任を果たしていきたいと思っております。引き続き、皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

記事内容

○新学長挨拶・新入生へのメッセージ	2
○新副学長挨拶 ○役職者一覧	3
○新学部長挨拶	4
○跡見学園女子大学学生会館完成	5
○新任教職員 ○他機関からの異動職員 ○名誉教授 ○大学を離れた方々	6～7
○2021年度就職活動総括と今後	8
○2022年度入試総括 ○跡見校友子女推薦入学試験のご案内	9
○学生会情報 ○紫祭のご案内	10
○跡見花蹊記念奨学生表彰 ○跡見校友会一紫会大学院奨学生表彰	11
○地域交流活動の紹介 ○国際交流活動の紹介 ○CLUB NOW	12
○留学の記	13
○情報メディアセンターからのお知らせ ○図書館からのお知らせ ○オープンキャンパスのご案内	14
○行事予定 ○2022年度心理教育相談所講習会 ○科目等履修生のご案内	15
○資料館コレクション	16

学長挨拶

〈女子大学〉になるために

今年度から学長に就任しました。教員生活44年目にして大役を仰せつかりました。これまでの経験と知識を総動員して任務に当たる所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

学長就任に当たって自らにミッションを課しました。それは、跡見学園女子大学を「女子大学」にすることです。おかしいことを言うと思われるかもしれませんが、言葉遊びをしているわけではありません。本学を名実ともに「女子大学」にしたいと考えているのです。

本学で学ぶ学生は言うまでもなく女性だけ（大学院を除いて）であり、その意味では「女子大学」ではあるのですが、施設、設備、運営、カリキュラムなどの面で女性の発想、ニーズや感性が十分に生かされているとは言えません。最大のステークホルダーである学生たちが納得してくれる内実を備えるためには、女性が主役となる大学づくりを目指す必要があります。

もちろん容易いことではありません。そもそも「女子大学」になることを標榜する学長が男



跡見学園女子大学 学長

小 仲 信 孝

性であることが自己矛盾かもしれません。それでも、本学が生き残っていくためには女性に評価される大学というテーマを追求していくべきだと考えています。学長就任に際して塩月副学長をはじめ、多くの女性教員に大学運営への参画を求めたのは、そのためです。学生たちの声も取り入れていくつもりです。

どうしたら学生の満足度を高めることができるか、4年間、女性のための大学づくりを目標に旗を振りつづけます。

【新入生のみなさんへ】

大学生活がスタートして4カ月が過ぎました。卒業後を視野に入れた目標は見つかりましたか。急ぐ必要はありません。日々の学びと体験の中にヒントは必ず隠されています。急がずに、しかし飽くことなく自分自身との対話をつづけてください。1年後、「なりたい自分」が見つまっていることを期待しています。



令和4年度入学式の様子

副学長挨拶



女性の視点を活かした
大学づくりに向けて

副学長 塩月 亮子

このたび副学長に就任しました塩月亮子と申します。初めての女性の副学長ということで、多くの方から「ぜひ女性の視点を活かした大学づくりを」というお声を頂戴し、一生懸命取り組まなければならない反面、皆様の期待に応えられるか不安になることもございました。そのようなとき、花蹊先生の次のような御講話と出あい、大変励まされました。

「笑ひながら暴風雨と戦ふ」。花蹊先生は学校を卒業していく生徒に、いつどんな暴風雨にあうかわからないけれども、弱音を吐いて力を落とすのではなく、一難毎に力を増すというくらい、笑ってその暴風雨と戦っていくようにならなければいけませんと説いていらっしゃる（中野一夫編著『跡見花蹊教育詞藻』平成7年 pp.64-65）。また、「愉快に其の日其の日を」では、健康を保つ唯一の秘訣は心持を爽快に持ち、物事をすべて楽観することであり、いかなる難事に遭遇しても、必ずその困難を自ら切り拓き、進んでいくという心がけが肝要だとおっしゃっています（同掲書 p.66）。

これは、今で言うところのポジティブシンキングに近く、私もこれから直面するであろう難事を、前向きにひるまず切り拓いていこうと決意を新たにしました。今後は、花蹊先生の力強いお言葉を胸に、学生および女性教職員の視点を活かした大学づくりに尽力してまいります。

副学長挨拶



教育・研究活動の
活性化を

副学長 石田 信一

このたび副学長を拝命しました石田です。主な研究分野はヨーロッパ近現代史です。どうぞよろしくお願いいたします。

本学の起源となる跡見学校が創立されてから、もうすぐ150周年を迎えようとしています。長きにわたる女子教育の伝統に支えられながら、時代に即応した諸改革を通じてさらなる発展をはかろうとしていた時期に、残念なことに新型コロナウイルスの感染拡大が起こってしまいました。それが大学における通常の教育・研究活動の障害となり、学生のキャンパスライフを理想とはほど遠いものにしてきた面があることは否定できません。

しかし、十分な感染防止対策の下で、本来あるべき教育・研究活動を可能な限り再開させ、いっそう活性化させるべき時期にきているように感じます。それが学生の期待に応えることにもなるはずです。

この2年余り、多くの場合に分散登校の形で実施されてきた授業をどのようにして通常の授業形態に戻していくのか、その間に蓄積されたオンライン授業のノウハウをどのように活かしていくのか、海外渡航が困難となって中断していた語学研修等の国際交流活動をどのような形で再開していくのかなど、すぐにもでも検討に着手すべき課題は少なくありません。微力ながら、これまで学内業務等で培った知識と経験を活かして、小仲学長、塩月副学長とともに、こうした課題に取り組んでいきたいと考えております。

役職者
一覽
(2022年4月1日現在)

- 学 長…………… 小仲 信孝
- 副学長…………… 塩月 亮子
- 副学長…………… 石田 信一
- 文学部長…………… 矢島 新
- マネジメント学部長…………… 丸岡 吉人
- 観光コミュニティ学部長…………… 坪原 紳二
- 心理学部長…………… 松寄くみ子
- 全学共通科目運営センター長…………… 鷹 咲子
- 図書館長…………… 森 まり子
- 花蹊記念資料館長…………… 横田 恭三
- 情報メディアセンター長…………… 板東 充彦
- 心理教育相談所長…………… 下山 晴彦
- 地域交流センター長…………… 土居 洋平
- 事務局長…………… 渡邊 泰教
- 教務部長…………… 加藤 大鶴
- 学生サポートセンター長…………… 櫻川 幸恵
- 就職部長…………… 石渡 尚子
- 入試部長…………… 中島 伸次
- IR・大学資料室長…………… 小仲 信孝

文学部長挨拶

文学部長としての抱負



文学部長 矢島 新

4月から文学部長を務めることになりました人文学科の矢島です。申すまでもなく学部長は重責です。いかなる時もその重さには大変なものがありますが、2年連続して入学定員を満たせなかったこの危機的状況にあって、その責任はますます重みを増しています。

私は先頭に立ってリーダーシップを発揮するような性格ではありません。2年間の学部長の任期を全うできるかどうか不安がこみ上げてきます。ただ、何かの巡りあわせでこの重職をお引き受けすることになった以上、全力を尽くす覚悟は生まれつつあります。日常的な業務もさることながら、学部や学科の広報活動などにおいて前面に出ていく機会も増えるのでしょうか。とりあえずスーツを一着新調することにいたしましょう。

もちろん私の能力などは小さなものです。年々衰えを感じる年代に差し掛かってもいます。皆様のサポートをいただかなければ、到底任をこなすことはできません。様々な局面において皆様に甘えることもあるかと思えます。どうぞ温かい目でお守りくださって、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

観光コミュニティ学部長挨拶

持続可能な観光と地域をめざす



観光コミュニティ学部長 坪原 紳二

観光コミュニティ学部は観光とまちづくりという2つのテーマを、両者を関係づけながら学ぶ場です。後者のまちづくりに関しては、地球温暖化、さらにはコロナ禍を受け、身近な地域での暮らしを豊かにするという意味でのまちづくりが、かつてないほど求められています。

一方でコロナ禍の影響を強く受けた観光については、回復の兆しが見え始めており、ゴールデンウィーク中には観光地に久々の賑わいが戻りました。ただ重要なのは、ウイズコロナ、ポストコロナの観光がめざすべきものは、地域生活を壊してしまうオーバーツーリズムの再来ではありません。コロナ禍をきっかけに持続可能な観光への転換が求められています。そのカギを握るのが、まちづくりです。つまり、まちづくりの一環としての観光が求められており、観光によって社会的にも経済的にも豊かになった地域が、また観光を呼ぶ、という循環を作っていく必要があります。

このことは、観光とまちづくりを相互に関係づけながら学ぶという、観光コミュニティ学部の理念が時代の先を行くものであったことを示しています。新しい観光と地域の在り方を、座学と実践を通じて大いに学んでほしいと思います。

マネジメント学部長挨拶

学部開設20周年の決意



マネジメント学部長 丸岡 吉人

マネジメント学部は今年度開設20周年にあたります。20年前には、スマートフォンもソーシャルメディアもありませんでした。電子会議システムを利用した遠隔授業、学生のPC必携化、学内にWi-fiが飛ぶなどの現在の景色は、20年前を思うと隔世の感があります。変化はデジタル化に留まりません。たとえば、2002年には日本の人口はまだ増加中ででしたし（2008年がピーク）、今は広く知られているSDGs（持続可能な開発目標）という言葉も存在していませんでした（国連で採択されたのは2015年）。

マネジメント学部は、現代社会における新しいマネジメントの学識や技能を備え、組織・事業運営の基幹分野で意思決定できる人材の養成を目的としています。私たちは、この目的を果たすために、引き続き社会の変化を先取りして、カリキュラムや学修環境を改善していきます。さらに、学部自身のマネジメントも将来にとって適切な仕組みやプロセスに進化させます。つまり、不断の現代化です。これが私の学部開設20周年目の決意です。

心理学部長挨拶

心理学部は第二のステージへ



心理学部長 松嵩くみ子

2018年4月、心理学部は誕生しました。途中、コロナ禍など様々な難関もありましたが、学部長、野島一彦先生のリーダーシップのもと、それまでの臨床心理士養成の体制に加えて、公認心理師養成の体制が整い、2022年3月、第一期生が卒業しました。心理学部は次のステージに進んだといえます。

この大切な時期に、力不足を大いに感じながらも、学部長を拝命することになりました。学部長らしく・・・はなかなか難しいですが、とにかく、お役に立てるよう努めさせていただく所存です。

これからの大きな課題は、受験生に「跡見学園女子大学の心理学部に進みたい！」と、もっとしてもらうこと、在校生に「入学してみたら、やっぱりよかった！」とってもらうことです。また、今までの教員の「無理」「頑張り」を少し和らげることも必要で、その両立を考えることが大切かと思えます。

実務の面では、あまり貢献できそうにありませんが、「あきらめない」「できること探し」は得意です。心理学部の最高のスタッフとともに、充実感をもって楽しく学び、幅広い教養と豊かな専門知識を修得できる跡見学園女子大学心理学部を目指したいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

新座キャンパスに「跡見学園女子大学学生会館」が完成



外観



外観



合宿スペース



談話スペース

2022年6月新座キャンパスに新たな施設「跡見学園女子大学学生会館」が竣工しました（2021年11月着工、2022年8月供用開始予定）。本施設は「跡見学園創立150周年記念事業」の一環として、中期計画目標の「新座キャンパスリフレッシュ化計画」及び「安心・安全な環境の整備」に基づいて建設されました。

新座キャンパス体育館に隣接して建設された本施設は、同じく新座キャンパスに位置する「合宿舎」と「クラブハウス」の両機能を集約したもので、部室や音楽スタジオ、合宿スペース、多目的スペースなどを設けています。施設内は明るく開放感のあるつくりで、学生の課外活動やキャンパスライフ等の新たな学修・交流拠点としての活用が期待されています。

<主な施設>

- 1階：エントランスホール 多目的スペース 談話スペース 学生会本部室 紫祭実行委員会室 多目的室
合宿スペース（キッチン/洗濯室/トイレ付属） 宿泊室（付添者用） シャワー室 ミーティングルーム
2階：部室（全24室） 音楽スタジオ

また、「跡見学園女子大学学生会館」の新設に伴い、新座キャンパスの「合宿舎」及び「クラブハウス」は役目を終え、今夏をもって解体となります。本学をご卒業の方にとっては、学生時代の思い出の場所となっている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。懐かしい建物の様子を写真でご紹介いたします。

<合宿舎>



外観



入口玄関スペース

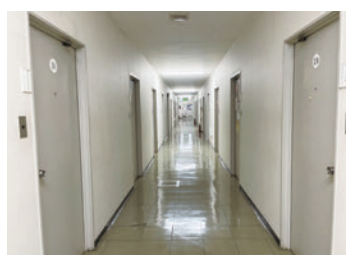


合宿スペース

<クラブハウス>



入り口



部室廊下



部室

令和3(2021)年度就職活動総括と今後

就職部長 石渡 尚子

<令和3(2021)年度就職活動の総括>

令和3(2021)年度の企業の採用活動は従来に引き続き、「広報活動開始時期3月」「選考活動開始時期6月」というスケジュールでスタートしました。「新卒一括採用」、「終身雇用」、「年功序列」といった日本独特の人事制度は様々な議論がなされており、変革期に入ったと言えます。採用手法の多様化も踏まえ、上記スケジュールより早期に会社説明会や選考を実施する企業もあります。

また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、昨今の就職活動の状況は大きく変化しています。新卒採用市場の指標の一つである大卒求人倍率調査(株式会社リクルートワークス研究所発表)によれば、2021年度(2022年3月卒)の求人倍率は「1.50倍」となっています。昨年と比較すると0.03ポイント低下しましたが、1.5倍台を維持し、底堅い結果となりました。学生の興味・関心が高い飲食・宿泊業ではコロナ禍の影響が大きく、採用数は減少となる一方、建設業、製造業、流通業では増加となりました。本学でも昨年と比較すると、製造業、流通業への進路決定者が多くみられました。依然として事務系職種のニーズは少なく、本学でも全職種における一般職(事務職)の割合は引き続き減少しています。

採用中止が続いた旅行、航空系、アパレル関連分野を入学時から志望していた学生もおり、2021年度も新たなキャリアプランを模索することが求められました。この学年はコロナ禍の影響により2・3年次においてインターンシップやアルバイト等、外部との接点を持ち難い環境ではあったものの、早い段階から新たなキャリアについて模索し就職活動に取り組んだ結果、本学における学生の就職率は全学で98.6%(2022年5月1日現在)と、昨年より1.1ポイント上昇した結果となりました。

令和3(2021)年度卒業生の就職実績

単位(人)

学部	学科	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率
文学部	人 文	172	141	139	98.6%
	現代文化表現	131	108	105	97.2%
	コミュニケーション文化	116	106	104	98.1%
	臨床心理	9	7	6	85.7%
	学 部 計	428	362	354	97.8%
マネジメント学部	マ ネ ジ メ ン ト	191	175	174	99.4%
	生活環境マネジメント	79	71	71	100.0%
	学 部 計	270	246	245	99.6%
観光コミュニティ学部	観 光 デ ザ イ ン	136	127	126	99.2%
	コミュニティデザイン	76	70	69	98.6%
	学 部 計	212	197	195	99.0%
心理学部	臨床心理	114	83	82	98.8%
	学 部 計	114	83	82	98.8%
全学合計		1,024	888	876	98.6%
(参考) 前年度全学合計		994	882	860	97.5%

①就職率…就職希望者に占める就職者の割合

②就職希望者…卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者。
なお、「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

③就職者…正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者。

④調査時点は令和4(2022)年5月1日現在。

<令和4(2022)年度就職活動の見通し>(2022年5月現在)

2022年度(2023年卒)も新型コロナウイルスの影響を機に採用活動のオンライン化が進み、選考は順調に進行しています。就職部では引き続き、オンラインでのキャリアセミナーや面接対策講座等、各種プログラムを定期的に行い、個別面談においてもオンライン・対面の両方に対応しています。また採用活動を継続する企業と学生との接点を作る機会として、オンラインによる学内合同企業説明会を実施しています。今後も企業の説明会や面接はオンラインで実施されるとみられ、就職活動を成功させるためには、こうしたツールを上手く活用していくことが必須となります。

株式会社ディスコが2023年3月卒業予定の現大学4年生を対象に実施した4月1日時点での調査(回答数:1,265人)によると、内定率は46.5パーセントで、昨年同時期より8.3ポイント上昇しています。こうしたことから、企業の選考実施時期が早まっていることがわかります。他人と比べる必要はありませんが、4年生の皆さんは説明会に参加する、応募書類を作成する等、まずは自ら動いてみることから始めましょう。

3年生の皆さんが活動する2023年度以降も、引き続きインターンシップからの早期選考をはじめとして、就職活動全般の一層の早期化が予想されます。そこで、就職部では全3年生を対象に行っている求職登録面談を今年度も5月から開始しています。

就職活動は低学年のうちから、早めに準備していくことが大切です。将来、何をしたいのか、どのような自分になっていきたいのかを常に自ら問いかけつつ、自分らしい就職活動を通じて自己実現と社会貢献ができる仕事を見つけていきましょう。

2022年度入試総括

入試部長 中島 伸次

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた2021年度入試の結果を受け止め、2022年度入試においては新規の学生募集活動の実施、及び、入試方法の変更を行いました。

学生募集活動においては、オープンキャンパスにて在學生と受験生と一緒にゼミ活動を行う「ゼミ体験」企画、年内入試に向けた実践的な面接を練習する「面接体験」などの『体験型企画』を、在學生、学園教職員が一丸となって実施しました。また、受験生の保護者向けイベント（新規）や合格者向けイベントを実施し、受験生とその保護者の方が安心してご受験、ご入学いただけるように努めました。いずれの企画も、参加者からは大変好評を得ました。

入試方法の変更では、学校推薦型選抜、総合型選抜においてそれぞれ12月期入試、3月期入試を新規に行うことで出願機会を増やし、一般入試A日程においては、受験科目数を昨年度の3科目から2科目とすることで、受験生の負担軽減を図りました。

上記の試みにより、2022年度の志願者は総数3,486名となり、2021年度の2,775名よりも大きく増加させることができました。学部別の志願者数

では、文学部1,492名（前年比128.62%）、マネジメント学部874名（同116.22%）、観光コミュニティ学部573名（同120.88%）、心理学部547名（同140.61%）という結果となりました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の社会的影響もあり、観光コミュニティ学部において大きく志願者が減となりましたが、今年度は回復の傾向にあります。

しかしながら、結果として今年度も入学定員を下回る結果となりましたので、今後も学生募集活動の充実と入試制度の改善を図っていく所存です。

2022年度入試の結果を踏まえ、本学では特に広報活動の改善を試みています。SNSやインターネットを活用し、Z世代の受験生に向けて効果的な広報活動を展開しています。

2023年度受験生は、コロナ禍の影響を受け、高校生活の中で大きな制約を受けた世代でもあります。本学では受験生の皆さんがより受験しやすい入試制度へと変更するとともに、入学された方が充実した大学生活を送ることが出来るよう受け入れ態勢の整備に努めてまいりたいと考えております。

跡見校友子女推薦入学試験のご案内

本入試は、本学在學生の姉妹および学園卒業生＜跡見学園女子大学、跡見学園短期大学（跡見学園女子大学短期大学部）、跡見学園高等学校の卒業生＞の子女を対象とした推薦入試です。跡見学園の建学の精神や校風に深いご理解をいただく方々をより多く受け入れることにより、学園の伝統の継承・発展につなげていきたいと考えております。

対象 本学在學生の姉妹および学園卒業生の子女

- * 入学金については半額免除いたします。
- * 評定平均値については、他の推薦入学試験に比して優遇措置をとっております。
- * 出願をご希望の方は、一度入試課（TEL:048-478-3338）までご連絡ください。

学生会情報

学生会本部 会長 渡辺 綾乃

ごきげんよう。木陰の恋しい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしですか。この度、学生会会長に就任いたしました、マネジメント学部マネジメント学科3年の渡辺綾乃と申します。

私たち学生会本部は、4月8日に新座キャンパスにて新入生歓迎会を開催いたしました。花蹊メモリアルホールにお集まりいただき、各団体の魅力をお伝えし、その後団体ごとに分かれサークル個別相談会を実施いたしました。多くの方にご参加いただき、跡見の魅力や雰囲気を感じていただけたと思います。

コロナ禍において分散登校が続くなか、それぞれの団体が安全に気を配り、工夫して活動しております。少しでも跡見の委員会、部活、愛好会活動に興味を持って

ただけたら、一緒に活動してみませんか？皆さんの入部を心からお待ちしております。学生会活動などで、なにか不安に感じることや、ご不明な点がございましたら、役員へぜひお気軽にお声がけください。

また、今後の活動の一つに、10月29日、30日に開催予定の紫祭があります。今年は、3年ぶりに対面での開催が予定されています。皆さまが楽しめるような企画を考えておりますので、どうぞご期待ください。

不安が多く、厳しい状況が続いていますが、私たち学生会本部は、皆さまの大学生活をより良いものにできるよう、そしてさらなる成長へ繋がるように精進して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



紫祭のご案内

紫祭実行委員長 皆川 友奈

ごきげんよう。紫祭実行委員会です。今年の紫祭は一部企画に人数制限を設ける予定ではありますが、2019年から3年ぶりの対面開催を行います。今年のテーマは『黎明（れいめい）～彩り溢れる紫祭へ～』です。

『黎明』という言葉には、「夜明け」や「新しく物事が始まろうとすること」といった意味があります。新型コロナウイルスの影響で一昨年の第53回は中止となり、昨年の第54回も対面で行うことができず、オンラインでの開催になりました。そのため、久しぶりの対面開催である紫祭が、『新たに明るい一歩を未来に向けて踏み出せますように』という願いがこのテーマには込められています。

また、今年の紫祭は新型コロナウイルスによる様々な困難を乗り越えたからこそ、その集大成を多くの方に肌で感じていただき、楽しんでいただければと思っております。新一年生も加入した今、先輩から引き継いだこの伝統を、私たちも繋いでいくために全力で取り組んでおります。

一から再出発する紫祭を素晴らしいものへ導くことができるよう、紫祭実行委員会をはじめ、参加団体一同、精一杯頑張りますので、本年度もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。是非、ご期待ください！！



令和4（2022）年度 紫祭開催日程

令和4(2022)年10月29日(土)・30日(日)

※新型コロナウイルスの感染状況によっては開催方法が変更となる場合もございます。その場合は紫祭HPやSNS、大学のHPにてお知らせいたしますので、ご通知おきください。

地域交流活動の紹介

令和3年度私立大学等改革総合支援事業に選定されました。

文部科学省が実施する令和3年度「私立大学等改革総合支援事業」において跡見学園女子大学はタイプ3（プラットフォーム型）に選定されました。

〈タイプ3（プラットフォーム型）〉

「地域社会への貢献」

- 地域と連携した教育課程の編成や地域の課題解決に向けた研究の推進など、地域の経済・社会、雇用、文化の発展に寄与する取り組みを支援
- 大学間、自治体・産業界等との連携を進めるためのプラットフォーム形成を通じた大学改革の推進を支援



埼玉東上地域
大学教育プラットフォーム



大学所在地の単独の自治体に留まらずTJUP〔埼玉県の東武東上線沿線および西武池袋線沿線の地域の大学・短期大学・自治体および企業が連携して協働事業を展開していくプラットフォーム（共通の土台）〕会員校の大学とともに、自治体・企業が幅広く連携しながら沿線全体の活性化に取り組むこの活動がより効果的な地域貢献につながると考え、本学では令和2年12月より本事業に参加しています。この活動に一丸となって取り組んだ成果が実を結び、令和4年2月17日付で、文部科学省に本学の取り組みが選定されました。

CLUB Now

硬式テニス部

部長 木内 結菜

ごきげんよう。硬式テニス部です。私たちは週に1回程、放課後に新座キャンパステニスコートで活動しており、練習日程は毎回部員と相談をして決めています。部員は1年生～4年生、計9名です。練習内容は主にショートラリー、サーブ&ラリー、サーブ練習、試合形式などで、楽しく活動しております。

毎年5月にOGとの交流会「弥生会」があります。一昨年、昨年は新型コロナウイルスの影響で交流ができませんでしたが、今年は3年ぶりに開催することができました。感染対策に気を付けながらOGの皆様と会話したり、試合をしたりと大変有意義な時間を過ごしました。

過去に関東学生新進テニス選手権大会に出場履歴があります。ここ1～2年、大会に出場ができておりません。今後は、積極的に参加をしようと考えております。

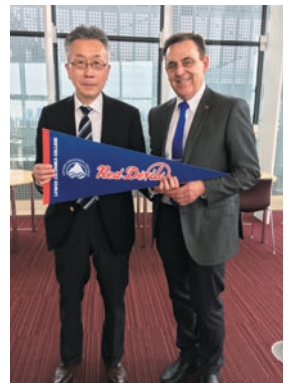
硬式テニス部は新入部員を常時募集中です。まずは見学、体験にお越しください。初心者経験者問わず大歓迎です。公式Twitter (@atomi_tennis) にてお待ちしております。



国際交流活動の紹介

アメリカの協定校ローワーコロンビアカレッジの学長、担当スタッフが来校されました。

2022年5月19日（木）、20日（金）、22日（日）、アメリカ・ローワーコロンビアカレッジの学長（Dr. Chris Bailey）と短期研修コーディネーター（Ms. Keiko Pedersen）が来校されました。お二人は本学学長らとの懇親会に参加された他、学生や受験生に対し同校の海外研修プログラムについて広報活動をされました。学生へのプレゼンテーション後は、多くの学生がお二人の元へ質問に来るなど、終始和やかな時間となりました。新型コロナウイルス感染症の世界的流行のため、海外研修の実施見送りが続いておりますが、今後もローワーコロンビアカレッジとの交流を深めてまいります。



留学の記事

文学部人文学科 教授 笹島 雅彦

跡見学園の国内留学制度により、2021年4月から1年間、東京大学大学院法学政治学研究科の客員研究員として、研究に専念する機会を得ました。

今回の国内留学に当たっては、全学教育・研究支援委員会、文学部の諸先生方や庶務課、会計課など事務方の皆様に支えていただき、滞りなく、研究生活を送ることができました。諸手続きや残されたゼミ生の受け入れなど、快く協力の手を差し伸べてくださり、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

さて、コロナ禍の研究生活とあって、通常とは異なる制約も生まれていました。東京大学では、新型コロナウイルス感染対策として、一般人や観光客のキャンパス立ち入りを完全にシャットアウト。教職員や学生たちは通用門で、身元確認を求められ、学内は閑散としておりました。

その一方、オンライン国際会議は活発に行われ、「東京大学未来ビジョンセンター」が主催する会議やシンポジウムに多数、参加することができました。また、米国のシンクタンクなどが主催するウェビナー方式の国際会議も数多く設定され、早朝、深夜にパソコン上から参加することができました。従来ですと、それぞれの会場に足を運ばなければ聞けない国際的に重要な人

物の講演に、手軽な操作で参加できます。時差を感じることなく、地球が丸いことを実感する一瞬でした。

私の研究テーマは、「米中対立」です。この対立は21世紀型のスーパーパワー同士による技術覇権争いの様相を見せており、今後長期化することが予想されます。昨年8月には、大混乱に陥ったアフガニスタンからの米軍撤退、今年2月からはロシアによるウクライナ侵攻が始まるなど、これまでの自由で開かれた国際秩序の枠組みが大きく崩れようとしています。国際政治は、地殻変動期を迎えているといえるでしょう。

この1年間で得た様々な知見を今後の研究・教育に生かしてまいりたいと思います。



写真は、東京大学大学院法学政治学研究科の客員研究員室にて。コロナ下での研究活動を開始した。(2021年4月7日撮影)

マネジメント学部マネジメント学科 教授 菅 咲子

2021年4月から1年間、本学と2018年に協定を締結した韓国の東義大学に留学する機会を頂きました。東義大学は1976年に創立され、比較的歴史は新しいものの9学部7大学院があり、1万6千人余りが在学しています。2021年は世界的にコロナの影響がありましたが、東義大学のある釜山はソウルや東京に比べると感染者数も少なく、夏涼しく冬暖かいという温暖な気候であり、快適な研究活動を行うことができました。東義大学では、日本語学科の韓国人学生や日本から中長期留学している他大学の日本人学生とも交流を深めることができました。跡見生は、この秋に初めて東義大学への中長期留学が実現する予定と聞いています。

近年韓国は、私の研究テーマである子どもの貧困対策に重要な意味を持つ学校給食において、先進的な政策を実施しています。高校まで学校給食が実施され、小中の給食無償化に加えて、2021年度に

は高校の給食も無償化されました。給食無償化について、ソウル市などの自治体担当者・研究者のほか、給食無償化を政府に求める市民運動の中心を担った方へのインタビューを行いました。オーガニックの韓国産農産物を学校給食に利用することなどで、教育・農業・環境・健康という幅広い分野の政策連携が進められていることが印象的でした。研究の成果については、「韓国日本近代学会」において学会発表を行うとともに、マネジメント学部紀要等においても発表する準備を進めております。



情報メディアセンターからのお知らせ

新座キャンパスのPCをリニューアルしました!

2022年4月、新座キャンパスの3号館コンピュータ教室のPC・AV機器と一般教室のPCをリニューアルしました。これまで2016だったOffice



のバージョンを2019に上げるとともに、Adobeのソフトウェアも最新バージョンにし、また遠隔授業への対応として、コンピュータ教室の全PCにWebカメラを設置しました。さらに1号館3階の1315にあったマルチメディア学習ラボを3号館3351に移設し、一方でPC必携化により役目を終えたインタラクティブスペースのPCや旧3351自習室のPCは撤去し、充電スポットとしました。特にコンピュータ教室のPCはハイスペックになっていますので、自習や創作活動等に積極的にご利用下さい。



図書館からのお知らせ

●漫画コーナー設置

『漫画』は日本が発信する文化の代表的な存在であり、大学には漫画・アニメなどの文化を幅広く学ぶ現代文化表現学科があります。学生の皆さんの学びやすさを考え、図書館で所蔵する漫画作品を集めた漫画コーナーを設置しました。



●学生選書ツアー購入資料展示

2021年12月実施の選書ツアーで学生の皆さんが選定し、図書館で購入した本を新座、文京両図書館で紹介しています。選書ツアーは好評であり今後も実施を予定しています。



Open Campus

オープンキャンパスのご案内

オープンキャンパスでは、在学生や教職員による個別相談コーナーや、在学生がガイドになってキャンパスを紹介するキャンパスツアーなど、大学の雰囲気を知ることができる様々な企画を用意しています。ぜひご参加ください。

Open Campus Schedule

事前登録制

7/24(日)

【新座キャンパス】

8/7(日)

【文京キャンパス】

8/20(土)

【文京キャンパス】

9/25(日)

【文京キャンパス】

新型コロナウイルス感染防止対策を行っています!

* 実施予定企画

大学説明/入試説明/入試対策講座/体験授業/
教員・学生との個別相談/キャンパスツアー/ 等

* 詳細は、HPにてご確認ください。

その他、入試に関するお問い合わせは

入試課(TEL:048-478-3338)までお願いいたします。



◆ 行事予定 ◆

7月	4日・16日～27日	春学期授業評価期間	10月	28日	紫祭準備日（予定）	
	11日・23日	補講日		29日・30日	紫祭（予定）	
	25日	木曜授業実施日		31日	紫祭後片付日（予定）	
	27日	春学期通常授業終了		12月	13日～20日	卒論提出期間
	28日～8月3日	春学期定期試験期間			26日～1月7日	冬季休業
8月	7月28日～3日	春学期定期試験期間	1月	8日	創立記念日（休講）	
	4日	春学期定期試験予備日 追試験日		11日	通常授業開始	
	5日～31日	夏季休業（集中講義等有）		14日・15日	大学入学共通テスト（休講）	
9月	1日～20日	補講期間（集中講義等有）	2月	23日～2月2日	秋学期授業評価期間	
	24日	9月期卒業式		30日	入試（休講）	
	21日～28日	秋学期オリエンテーション期間 （24日除く）		31日	補講日	
	26日～28日	秋学期1次履修登録申請期間		3月	2日	秋学期通常授業終了
10月	1日	秋学期通常授業開始 秋学期1次履修登録状況（抽 選結果）発表	3日		秋学期定期試験予備日	
	1日・3日	秋学期2次履修登録申請期間	4日～10日		秋学期定期試験期間	
	6日	秋学期2次履修登録状況（抽 選結果）発表	13日	秋学期定期試験予備日 追試験日		
	6日・7日	秋学期履修登録訂正期間（窓 口受付）	14日～28日	補講期間（集中講義等有）		
			1日～29日	春季休業（集中講義等有）		
			4日	卒業発表		
			11日	進級発表		
			18日	卒業式（新座キャンパス）		

2022年度 心理教育相談所講習会【新座キャンパス】

実施日	時間	講座	担当者
7月 5日（火）	10:40～12:10	対人関係のスキル ーさわやかな自己表現のコツー	宮崎 圭子
7月14日（木）	13:00～14:30	こころとからだを癒す ー心身の健康を高めるためにー	前場 康介
7月15日（金）	13:00～14:30	高齢者の心理を考える ー生きがい、幸福感ー	阿部 洋子
7月22日（金）	14:40～16:10	ひきこもり青年の理解と対応	板東 充彦
9月10日（土）	13:00～14:30	子どものこころを育む心理教育の方法 ー社会性と情動の発達を促す手立てー	新井 雅

**本学の正規
授業を受けて
みませんか？**
[科目等履修生の
ご案内]

本学では、生涯学習、社会人教育推進の観点から「科目等履修生」の制度を設けています。

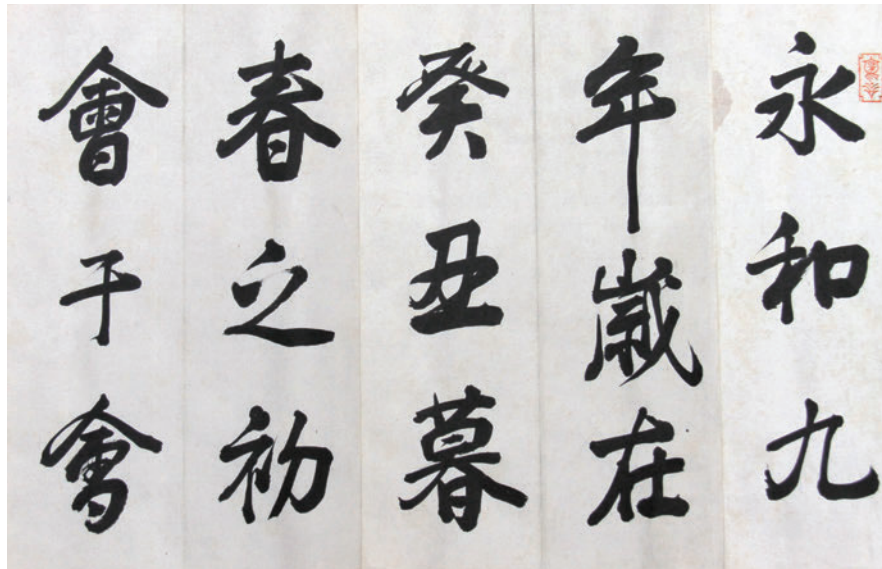
この制度は、本学の授業科目の一部を学生以外の方が履修して、所定の成績を修めた場合には正規の単位が与えられるもので、本学への出願資格を満たしている方であれば、選考の上本学が定める授業科目の中から希望する科目を選んで授業を受けることができます。

費用は、科目等履修登録料が7,500円／1学期、及び科目等履修料10,000円（卒業生は5,000円／1単位）となっています。

秋学期の募集案内は大学のホームページにて掲載します。詳しくは、教務部教務課へお問い合わせください。

e-mail d-kyomu@mmc.atomi.ac.jp 電話番号 03-3941-7420（文京キャンパス）

資料館コレクション



書手本「^{らんていじょ}蘭亭序（一）」

跡見花蹊(1840-1926)

制作年不明 紙本墨書

花蹊が臨書した王羲之〈蘭亭序〉の折帖です。全文324字中、書き出しから13行目「形骸之外」まで155字を臨書しています。表紙の題簽には「蘭亭序（一）」とあるので、本来は「蘭亭序（二）」が存在するはずですが、本資料館に収蔵されているのはこの一帖だけです。

永和9年（353年、癸丑の歳）3月3日、王羲之は江南の貴族41人を会稽山陰の蘭亭に招き、禊の儀式を行い、曲水の宴を催しました。そこに参加した者が詠んだ詩をまとめた詩集、その序文が〈蘭亭序〉です。後日、数十回浄書したものの、当日の作には及ばず、草稿が残されたといわれています。それから250年以上のち、王羲之の書を熱愛した唐の太宗は、全国から王羲之の書跡を蒐集させました。しかし、〈蘭亭序〉だけは行方不明のままでした。というのも王羲之七代の子孫にあたる智永の弟子（弁才）が永欣寺に隠し持っていたからです。唐の太宗はその情報を得るとすぐに臣下の蕭翼を永欣寺に遣わせ、とうとう蘭亭序をだまし取ったのでした。この逸話は「賺蘭亭（賺＝だまし取る）」というもので、唐の何延之撰『蘭亭記』にみえます。

ところで、大正・昭和の書道界は、それぞれの「癸丑の歳」に合わせて蘭亭会を開催しました。『花蹊日記』には大正2年4月3日の欄に「蘭亭脩禊会」と記されていますが、それに関する具体的な記述は見当たらないことから、おそらく当日の出来事を書き留めただけなのでしょう。いずれにしても、〈蘭亭序〉が折帖として遺されている理由は手習い用として制作されたからだと思われる。ただし、その臨書態度は独自の解釈に徹したもので、全般に“跡見流”の筆使いが反映されていることが分かります。

（花蹊記念資料館館長 横田恭三）

跡見学園女子大学学報 第103号

発行日 令和4年7月15日
 発行 跡見学園女子大学事務局庶務課
 〒112-8687 東京都文京区大塚1丁目5番9号
 電話03 (3941) 7420
 URL <https://www.atomi.ac.jp/univ/>

この冊子は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および、再生資源やその他の管理された原材料から作られた、環境配慮型のFSC®認証紙を使用しています。

